

「第3次三重県自殺対策行動計画」策定等支援業務」提案書記載依頼事項(参加者用)

(別紙5)

| | 項目 | 記述内容 | 項目 評価点 |
|-------|---|---|-----------|
| 1 | 提案内容が本事業の目的に合致しているか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・仕様書にもとづき提案する事業全体に関して、全体の枠組み、基本的な考え方、アピールポイント等を冒頭に簡潔に記述すること。 ・本事業の背景や目的及びその必要性を考慮したうえで、貴社の考え方と貴社の提案による想定効果等について説明すること。 ・特に、第3次三重県自殺対策行動計画策定の基礎資料としてアピールするポイントを次の点に留意しつつ記述すること。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 本県の自殺統計データの概要状況 2. 国における、「新たな自殺総合対策大綱の在り方に関する検討会」報告書（平成29年5月15日）についての内容 3. 最新データの収集・分析等に関する考え方 | 10 |
| 2 | 本事業を円滑に遂行するための実施体制をとっているか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・仕様書の内容を実施するための貴社の実施体制、要員の役割を明示したうえで、その考え方、実施方針などの説明を記述すること。 ・本事業に関わるスタッフの役割及び経歴（資格、実績、経験年数）等について記述すること ・主要な連絡先、連絡要員、業務の遂行にあたっての本県との連絡調整方法等について記述すること。 ・進捗状況の報告書等、本県との連絡を密にする効果的な連絡体制についての提案等があれば記述すること。 ・データ収集、作成支援等貴社が想定する貴社と本県の役割分担を明確にすること。 ・再委託する場合は、再委託業務及び再委託に関する理由（必要性）、再委託先について明記すること。 | 15 |
| 3 | 事業の実施方法、実施スケジュールは現実的か。 | <ul style="list-style-type: none"> ・仕様書の要件を満たすように、事業の運営方法、全体の作業工程及びスケジュールを明示すること。 | 15 |
| 4 | 事業の実施方法等について、本事業の成果を高めるための効果的な工夫や分析力が見られるか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・仕様書に記述している自殺統計データ及び自殺に関する既存の意識調査に基づく実態把握とグラフ等を用いたデータの作成に対する貴社の考え方、手法、集計方法等について記述すること。 ・自殺統計データ等の結果からの分析、課題の抽出方法について、記述すること。 ・別途行う独自調査があれば、その内容・手法や効果等についても記述すること。 ・調査が不可能な項目について、その理由を明記するとともに、代替案等の提案を行うこと。 ・過去5年間（H23～H28）で、類似業務の受託実績があれば記載すること。（実績一覧、受託業務名、委託者、委託金額、類似点等） | 25 |
| 5 | 事業に対する提案力があるか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・自殺予防施策の具体的方策を提案するにあたっての考え方、提案手法を具体的に記述すること。 ・提案者の経験上、本県が示す内容以外でも必要であると考えられる項目があれば、具体的に記述し、その優位性を示すこと。 | 25 |
| 6 | 貴社が提案する見積書 | 積算内訳を添付し、契約希望金額の100/108に相当する金額を記載すること。 | 10 |
| 合計(点) | | | 100 |

○ 選定項目 6項目

(計算方法)

上記の評価項目1～5の採点については、優秀なものから、「5, 4, 3, 2, 1」の5段階評価で相対評価を行い、それぞれの項目ごとの評価点に評価ごとの掛け率を乗じて選定委員が採点する。

(例) 提出された企画提案が 5件の場合 評価順ごとに評価点に「5/5,4/5,3/5.2/5,1/5」を乗じる。

提出された企画提案が 3件の場合 評価順ごとに評価点に「3/3,2/3,1/2」を乗じる。